

2020年9月28日

農業生産法人 株式会社ミヤモトオレンジガーデン

愛媛県立農業大学校「令和2年度 農業経営高度化塾」で講演

2020年9月25日、愛媛県立農業大学校で、「令和2年度 農業経営高度化塾」が開催され、代表の宮本泰邦が「GAP・生産工程管理」をテーマに講演しました。農業経営高度化塾は、将来の地域農業のリーダーとなる農業経営者を育成することを目的に開講されており、受講生は20代から50代までの熱心な生産者（約15名）で、開講は今年で4年目になります。

講演では、当社での取り組みを踏まえて、グローバルGAP認証取得に至った経緯や目的、準備、審査、取得のメリット、実際の農業法人経営での活用事例の紹介を行いました。また、当社が開発したITクラウドを活用したGAP認証取得支援システムの「MOG-GAPシステム」による栽培記録、収穫からお客様に届くまでのトレサビリティ管理、審査対応、生産性改善活動、経営分析など、GAPおよび本システムの活用を通じた持続可能な農業経営強化のための説明を行いました。

<MOG-GAPシステム : <https://gap.orange-garden-inc.jp/>>



今後も引き続き、世界最高品質のみかんを目指して、おいしく、安心安全、高品位・高付加価値のみかんづくりを研究・実践し続けます。また、グローバルGAPおよびASIA GAPの普及推進への支援を積極的に行い、地域貢献、および農業界の発展に尽力いたします。

当社は、お客さま、お取引先、従業員とその家族全ての生活者に、みかんを通じて喜んで頂きたいとの思いがあります。また、みかんだけでなく、野菜果物の新しい価値創造に努めてまいります。

以上